

# 2018年度事業計画

摂南大学:3件

## 1) 全学的教育改革推進事業 [教務課]

### 【必要性・目的、実施計画等】

#### 《必要性・目的》

全国的に推し進められている教育改革「学士課程教育(教養教育を含む)の質保証の確立」では、大学は自らの教育の理念にもとづきディプロマ・ポリシーと結びついたカリキュラム・ポリシーに則った教育プログラムを学生に提供することが求められている。また、アドミッション・ポリシーにより選抜された学生のすべてを脱落させることなく一定期間にディプロマ・ポリシーに提示した学力を修得させることが必要である。本学においても、これらの教育改革を推し進めることが重要な課題である。さらに、近年、増加傾向にある除籍退学者を減らすことも緊急の課題である。

したがって、本事業では、教育改革の実質化を目的とした「内部質保証体制の確立」およびすべての入学生が本学で学び続けるモチベーション・アップのための「初年次教育プログラム」を推し進める。

#### 1. 内部質保証体制の整備

本学の教育の充実と学生の学修成果の向上を目的に、「3つのポリシーに基づく学位プログラムの体系化」「エビデンスに基づく自己点検・評価とその評価結果の教育改善・改革へのフィードバック」「教育効果を高める教育の実践」「情報公開の推進」の4つの視点から本事業を推し進める。

#### 2. 初年次教育プログラムの実施

本事業では、新入生が学部を超えた本学独自の文理横断的な学修(主体的な学び、対話的な学び、深い学び)を通して多様な人々と協働して学ぶ喜びや楽しさを実感させる。その結果、入学時から学生の学ぶモチベーションを向上させ、学習意欲を底上げし除籍退学者を減少させることが期待できる。

#### 《実施計画》

#### 1. 内部質保証体制の整備

- ① 学士力・社会人基礎力等を測定する外部アセスメントテスト(大学生基礎力レポート等)の実施および大学独自のアセスメントテストの開発
- ② ディプロマ・ポリシーの達成度の評価(科目GPの達成度、卒業研究を含む卒業時の学力評価)
- ③ 内部質保証検証組織の整備
- ④ IRを活用した「教育体制および学修成果」に関する自己評価 ※2019年度以降実施
- ⑤ 「教育体制および学修成果」に対する外部評価 ※2019年度以降実施
- ⑥ 自己評価および外部評価に基づいた3つのポリシーのPDCAサイクルの確立 ※2019年度以降実施

#### 2. 初年次教育プログラムの実施

- ① 入学宣誓式・5000人のアクティブ・ラーニング(仮称)  
新入生、保護者、在学生・教職員の総勢約5000人が多様な人々と協働した学び体験できる入学式イベントの実施。
- ② 学修キックオフ・セミナー(仮称)  
新入生が学部を超えたチームビルディングを通して大学での主体的で協働して学ぶ態度を醸成する。
- ③ 大学教養入門(仮称) <1年次前期・2単位/教養特別講義>  
学部を超えた全学的教育として、「大学教養の学び方を学ぶ」ためのワークショップ形式の授業とする。

### 【具体的指標・効果(成果検証)】

#### 1. 内部質保証体制の整備

2018年度予定分について実施する。

#### 2. 初年次教育プログラムの実施

2018年度予定分について実施する。

## 2) 大学・大学院の改組事業(継続) [学長室企画課]

### 【必要性・目的、実施計画等】

#### 《必要性・目的》

2015年に創立40周年を迎えた本学は、さらなる改革として創立50周年を見据えた成長戦略「SETSUDAI VISION 2025」を策定し、そのビジョン実現のために5つの目標を設定した。その1つが「多様な側面から課題解決に取り組む総合大学への進化」である。

建学の精神「世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。」に則り、世界や地域社会に新しく噴出する課題や時代のニーズに対応し、また学生の知的探究心を満たすため、農学部を2020年度に新設する。加えて、既設の学部・学科・コースの改組・再編を検討する。これにより、大学改革を一層推進するとともに、ブランド力の向上につなげる。

#### 《実施計画》

- ① 農学部農業生産学科、応用生物科学学科、食品栄養学科、食農ビジネス学科(いずれも仮称)の設置認可申請(2019年3月提出予定)  
※食品栄養学科は別途、管理栄養士養成学校指定申請(2019年1月提出予定)
- ② 既設の学部・学科・コースの改組・再編の検討

### 【具体的指標・効果(成果検証)】

- ① 農学部設置認可申請および管理栄養士養成学校指定申請完了
- ② 既設の学部・学科・コース改組・再編の検討および計画策定

### 3) キャンパス整備計画事業(継続) [学長室]

#### 【必要性・目的、実施計画等】

##### 《必要性・目的》

寝屋川キャンパスは、教育研究、産学官連携、社会貢献等様々な活動を展開する摂南大学の中核キャンパスである。地域に愛され信頼される大学を築くために、このキャンパスを学生・教職員だけでなく、地域の人々にも潤いと安らぎを与える空間として整備する。学部・学科の新設・再編をはじめ、教育プログラムの充実や課外活動の活性化を目的とした整備内容とする。

枚方キャンパスは、屋内体育施設がなく学修環境の充実および課外活動活性化に向けた体育施設の建設や2020年度開設の農学部棟(仮称)も含めた整備内容とする。

##### 《実施計画》

###### [寝屋川キャンパス]

- ・現在の敷地に2018年1月引き渡し予定の日本ペイント㈱寝屋川事業所用地を加えて、学部・学科の新設・再編やグラウンド建設等を含めた寝屋川キャンパス全体の整備計画を検討・策定する。また、学生の通学における安全を確保するため、バスロータリーを整備する。[2018年度]

###### [枚方キャンパス]

- ・2020年度開設の農学部棟(仮称)や体育施設等を含めた枚方キャンパス全体の整備計画について、具体的な施設設備の設計を行い、新築工事等を着工する。[2018年度] 2019年度には施設設備の整備を完了させる。

#### 【具体的指標・効果(成果検証)】

[寝屋川キャンパス] 整備期間:2017～2021年度

[枚方キャンパス] 整備期間:2017～2019年度

##### <2018年度>

寝屋川キャンパス整備計画の検討および計画策定。バスロータリーを整備し、利用開始する。

枚方キャンパス整備計画の設計等を完了し、新築工事等を着工する。